

「小浜城并西津侍屋敷図」(明和5年<1768>、須田家蔵)

テーマ展

幕末の お役所 づとめ



紺絲威二枚胴具足
(江戸時代前期、当館蔵)

令和元年 令和2年
会期 11月21日^木~1月13日^{月/祝}

会場 福井県立若狭歴史博物館 2階
企画展示室

※会期中の休館日
11月25日月、12月9日月、23日月、29日土~1月2日土

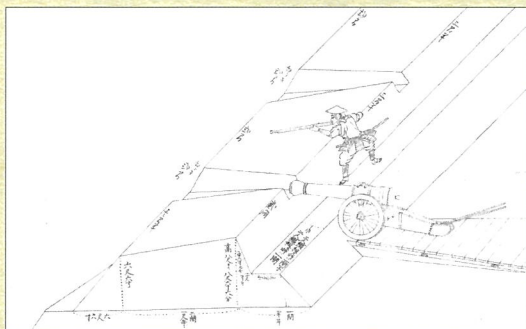
観覧料 一般・大学生.....310円
(常設展示観覧料で見学可)
高校生以下・満70歳以上.....無料
※障がい者手帳等をお持ちの方とその介助者1名は無料
※有料の方が20名以上の団体は2割引

幕末のお役所づとめ

「幕末」という言葉からまず思い出されるのは、雄藩と呼ばれる維新派の藩主や志士たち、あるいは徳川将軍や新撰組のような幕府側の人びとでしょう。若狭国では酒井忠義や梅田雲浜らが著名です。その後の国のあり方を大きく規定した幕末の変革が、彼ら抜きに達成できなかったことは紛れもない事実です。

とはいえ江戸時代の藩政は、一部の藩主や志士だけで運営されていたわけではありません。彼らの陰には多くの藩士がいて、「普通の仕事」で藩政を支えていました。

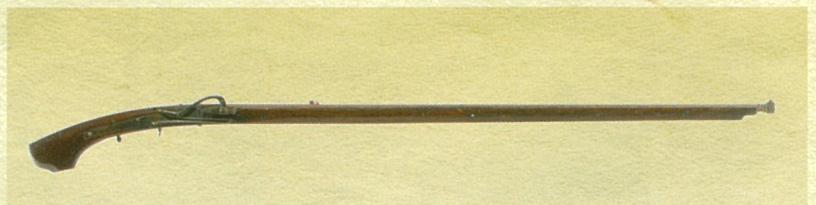
本展ではこうした「名もなき藩士」に注目し、彼らが普段どのように藩に仕え、藩の仕事に従事していたのかをさぐります。



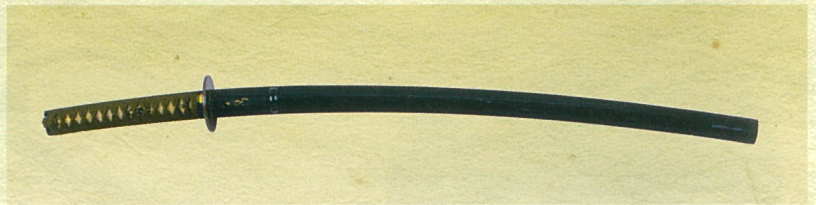
「西津台場之図」(江戸時代後期、須田家蔵)



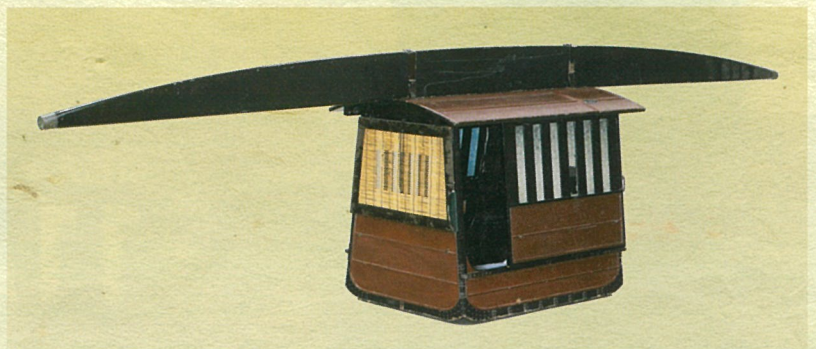
「竹原侍屋敷絵図」(明和5年<1768>、須田家蔵)



火縄銃(江戸時代、須田家蔵)



打刀拵(江戸時代後期、個人蔵)



徳川家光所用乗物(江戸時代、発心寺蔵)

次回予告

12月13日(金)~3月22日(日)

テーマ展

「ちょっとむかしの暮らし」

むかしの道具をたよりに、若狭地域のむかしの暮らしについて紹介します。

12月15日(日) 13:30~15:00

わかはく講座

「小浜藩士の仕事をさぐる」

講師:当館学芸員

申込不要・聴講無料



福井県立

若狭歴史博物館

〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目104

<http://wakahaku.pref.fukui.lg.jp/>

<https://www.facebook.com/fukui.wakahaku>



TEL 0770-56-0525

FAX 0770-56-4510



■JR小浜線 東小浜駅下車、東へ徒歩7分



■自動車:舞鶴若狭自動車道 小浜ICから5分

